

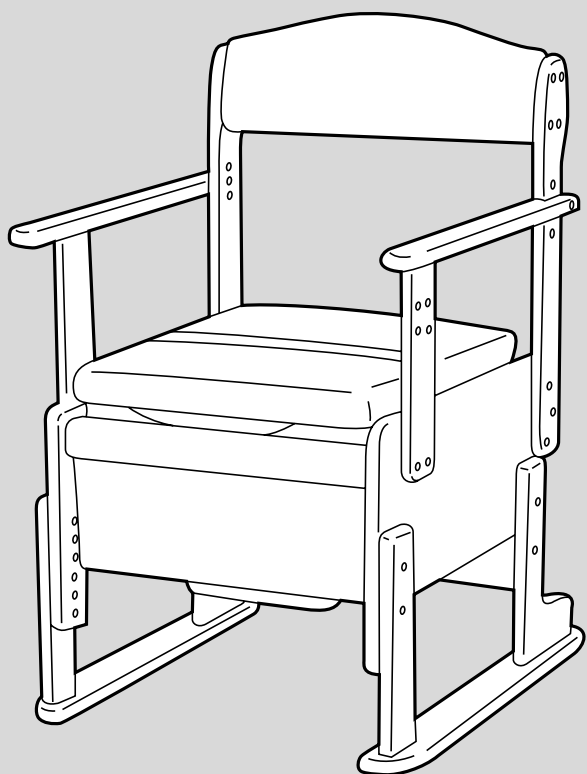


大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

家具調トイレ自立6型N 取扱説明書

最大使用者体重：100kg以下

このたびは家具調トイレ自立6型N
をお求めいただきまして、まことにあ
りがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前
に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管し
てください。



もくじ

安全上のご注意	1~3
各部のなまえ	4
部材・付属品・仕様	5・6
特長	7
組み立てかた	8~10
使いかた	11~14
お手入れの方法	15
故障かな？と思ったら	16

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）



必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。



してはいけない「禁止」内容を説明しています。



警告



絶対に分解・修理・改造をしないこと
本体が正常にはたらかず、けがの原因になります。



座面を折りたたんだ状態や後ろに倒した状態で座面に過度の力をかけないこと
本体が転倒したり、座面が破損し、けがの原因になります。



注意



背もたれを確実に固定すること
身体が不安定な状態となり、けがの原因になります。

ひじ掛けがしっかり固定されているか確認すること
身体が不安定な状態となり、けがの原因になります。

補高脚を確実に固定すること
身体が不安定な状態となり、けがの原因になります。

各部の調節（高さ調節など）については、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること

直射日光を避けて、室内でのみ使用すること
変色やソリ・ひび割れの原因になります。

座面を後ろに倒して使用する場合は、座面を持ってゆっくりと倒すこと
座面と本体に指や手をはさみ、けがの原因になります。

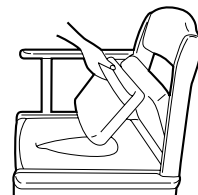
移乗の際、ひじ掛けを取り外したり、0cm設定で使用する場合は、もう一方のひじ掛けは必ず取り付けられた状態（18cm以上の設定）で使うこと
背もたれが倒れ、けがの原因になります。



必ず平たんな場所で使うこと

ボルトがゆるんでいないか、定期的に点検すること
不安定になり、けがの原因になります。

折れ座面の開閉は、必ず持ち手部を持って行うこと
別の部分を持って行うと指をはさむ原因になります。

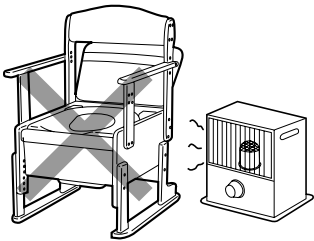
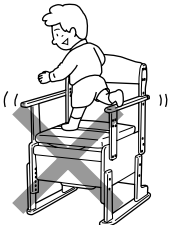


座面を後ろに倒して使用する場合は、必ず介助者が付き添い、使用者の身体を支えて使うこと
背もたれと座面（便座）の間に身体が挟まったり、転倒したりけがの原因になります。

使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること

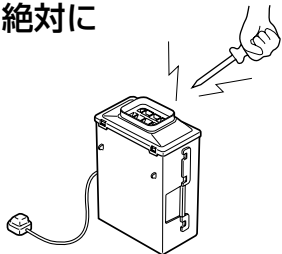
安全上のご注意

⚠ 注意

キャスターで本体を移動させる場合、無理な段差や凹凸面では行わないこと 本体が引っかかり、転倒やけがをしたり、故障の原因になります。	熱器具の近くや湿気の多い場所には設置しないこと 火災や変形の原因になります。 
背もたれを手すり代わりに持たないこと 転倒し、けがの原因になります。	バケツ内に水や汚物を入れたまま、本体を移動させないこと 内容物がこぼれ、本体や服・床などを汚す原因になります。
直接水をかけて洗わないこと 変形や故障の原因になります。	補高脚を取り外した状態で使用しないこと 本体が不安定になり、転倒したり、けがの原因になります。
人や物をのせたまま移動させないこと 故障やけがの原因になります。	※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと ※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと 木部の塗装がはがれたり、プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。
子供・幼児を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと 座面やひじ掛けの上に立ったりしないこと 転倒し、けがの原因になります。 	
落としたり強い衝撃を与えないこと 本体が破損し、けがの原因になります。	
体重が100kgを超える方は使用しないこと 本体が破損する原因になります。	

快適脱臭

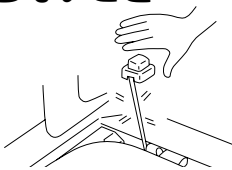
⚠ 警告

分解・修理・改造は絶対にしないこと 感電や発火の原因になります。 	焦げ臭いなど異常がある場合は、すぐACアダプターを抜くこと 感電や火災の恐れがありますので、お買い上げの販売店または、裏表紙のお客様ご相談窓口にご連絡ください。 ACアダプターは根元まで確実に差し込むこと 差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。 傷んだACアダプター、ゆるんだコンセントは、使用しないでください。
ACアダプターを抜くときは、コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜くこと 電源コードが破損し、火災・感電の原因になることがあります。	

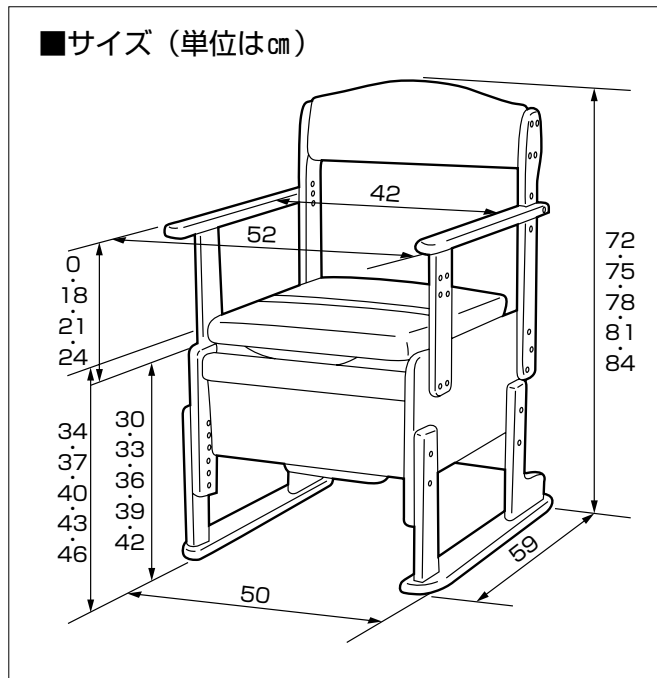
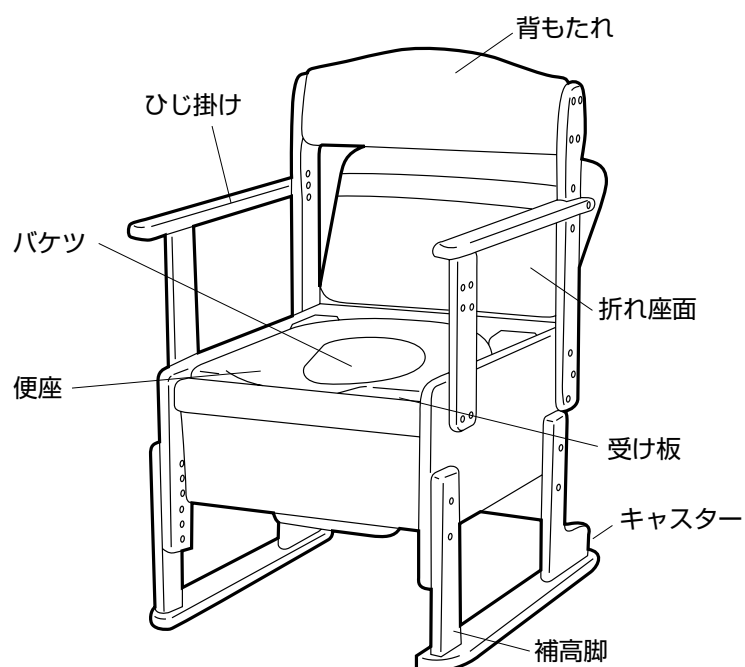
安全上のご注意



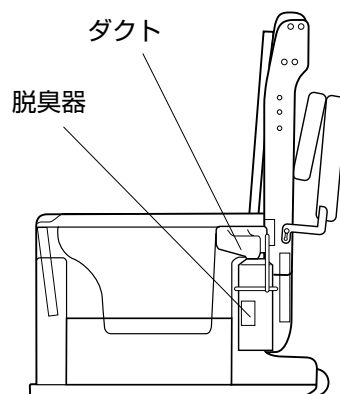
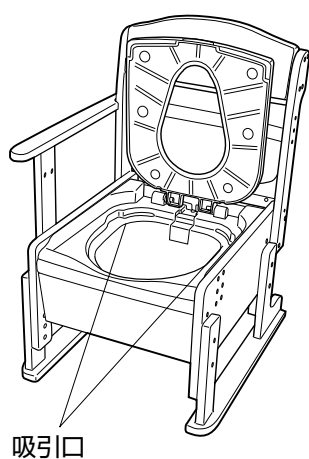
警告

	お手入れの際は、必ずACアダプターをコンセントから抜いておくこと 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないこと 感電やショートして、火災の原因になります。		ACアダプターのほこり等は、定期的に取り除くこと ACアダプターにほこりがたまると、湿気等で、絶縁不良となり、火災の原因になります。 長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。
	脱臭器センサーに小便や水をかけないこと 感電やショートの原因になります。		表面に結露を生じるような湿気の多い場所（浴室等）では使用しないこと 感電やショートの原因になります。
	電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないこと 火災・感電の原因になります。		配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外では使用しないこと 他の器具と併用し、定格を超えると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。
	ACアダプター・コードを破損するようなことをしないこと 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりしないこと 傷んだまま使用すると、感電やショートして、火災の原因になります。		長期間使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いておくこと 絶縁劣化により、火災・感電の原因になります。
	専用ACアダプター以外は使用しないこと 故障の原因になります。		脱臭器センサーを引っ張らないこと 故障の原因になります。 持ち運ぶときは、センサーやセンサーコード、ふただけを持たずに、必ず脱臭器の本体を持ち、センサーに手をそえて持ってください。 
	脱臭器の排気口に物や手を入れないこと 回転するファンにまきこまれ、けがの原因になります。また、ファンの故障の原因になります。		

各部のなまえ

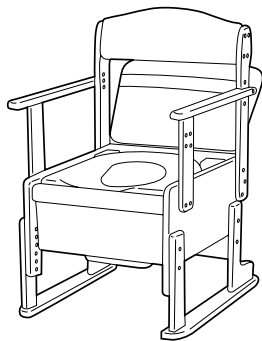


快適脱臭

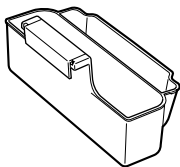


部材・付属品・仕様

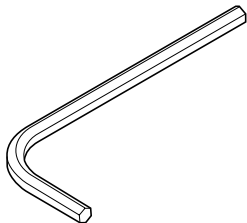
共通



●本体
1個



●ポケット
1個



●六角レンチ
(4mm) 1本

- 防臭消耗品
- K型便座カバー2枚
(ソフト便座にはついていません)



●ペーパーホルダー
1個



●ペーパーホルダー
軸受け 1個



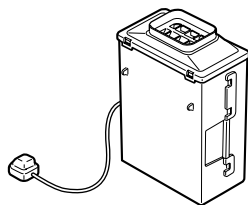
●ペーパーホルダー
軸受け固定用ボルト2本
(M6×15mm)

仕様

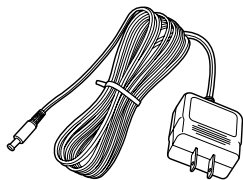
ポータブルトイレ本体		
材質	構造部材	天然木（ラバーウッド）
	表面加工	ウレタン樹脂塗装
	張り材	合成皮革（PVC）
	クッション材	ウレタンフォーム
	受け板・バケツ	ポリプロピレン
	便座	標準 ポリプロピレン
		ソフト便座 ソフト便座：EVA（抗菌加工） 便座ベース板：ポリプロピレン
寸法	幅52×奥行59×高さ72・75・78・81・84cm (便座までの高さ30・33・36・39・42cm)	
重量	約15 kg（標準仕様） 約15 kg（ソフト便座仕様） 約15.7kg（脱臭仕様）	
バケツ容量	10ℓ	

部材・付属品・仕様

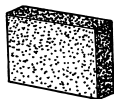
快適脱臭



●脱臭器1個



●ACアダプター1個



●プレフィルター1個

仕様

脱臭器		
材質	本体	ポリプロピレン
	接続ダクト	ポリエチレン
	プレフィルター	ポリウレタン
	吸着材	触媒配合ハニカム活性炭
寸法	幅13.5×奥行8.5×高さ19cm	
重量	約0.7kg	
電源	AC100V（50/60Hz共用） DC12V（ACアダプター使用）	
消費電力	約5W	
脱臭方法	吸着脱臭方式	
吸着材寿命	約7年（1日1時間使用した場合）	
動作	人体を感知し自動的に起動 最終感知から5分後に停止	
コード長	約1.9m	

特長

- 便座（座面）の高さは5段階に調節可能で、使われる方の体格や症状に合わせた設定が可能です。
便座高：30・33・36・39・42cm
座面高：34・37・40・43・46cm
便座高さを30cmに設定できるので、小柄な方や床から着座する場合でも使用することができます。
- ひじ掛けの高さは4段階（便座から0・18・21・24cm）に調節可能で、症状や使い勝手に合わせて座位保持・立ち座り・排泄姿勢・移乗など、最適な高さを選択できます。ひじ掛けを0cmに設定すると移乗の時に手を置いたり、ベットとのすき間を埋めるスペーサーとして利用できます。
- 座面は本体の後ろ側まで片手で倒すことができ、座面を戻す時も片手でできるので使用される方を支えながらの後方介助にとっても便利です。
- ソフト素材で軽量の折れ座面を採用しています。
開閉時も静かなので周囲に気がねなく使用でき、握力の弱い方も楽々開閉できます。
- ソフト便座には、着座時の痛みや冷たさを緩和するやわらかい素材（抗菌加工）を使用。
汚れた時は、分解して洗えます。
- 便座・受け板を外して掃除できるので、いつでも清潔です。
- 便座はゆっくり閉まるオイルダンパーを採用しています。
- 受け板は汚れや臭いがしみ込みにくいプラスチック製で、しかも底付きになっているので汚水がこぼれても床を汚すことがなく、衛生的です。
- 背もたれは前後2段階（2cm間隔）の位置調節が可能です。
- 十分な足引きスペースがあるので立ち上がりが楽にできます。
- 脚後部にはキャスターが付いているので移動が楽にできます。
- ポケットはバケツの蓋を収納することができ、小物も入れることができるのでとても便利です。
- ペーパーホルダーは左右どちらにも取り付け可能です。

快適脱臭の特長

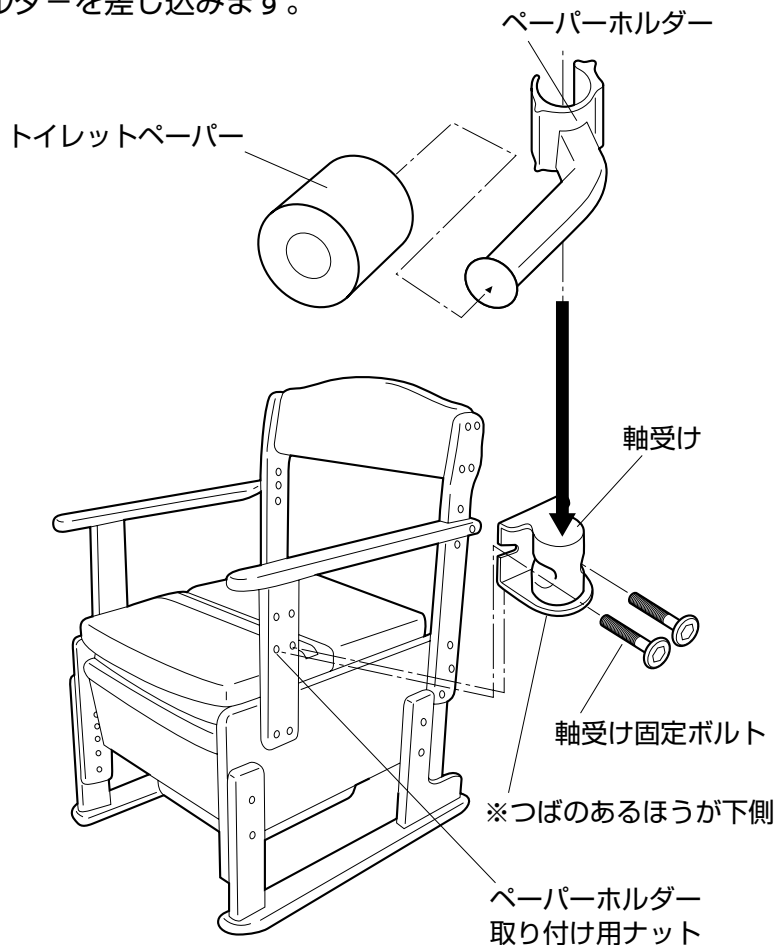
- 吸引構造
便座の下後方2ヶ所の吸引口から臭いを強力に吸い取ります。
- 自動運転
センサーが、ポータブルトイレに近づく人に反応して自動で運転を開始します。また、人が離れてから5分後に停止するタイマーつきです。
- 吸着材
吸着材は、触媒配合ハニカム活性炭で、悪臭を吸着して取り除きます。吸着材の寿命は、1日1時間の使用で約7年間使用することができます。

組み立てかた

1 ペーパーホルダーを取り付ける

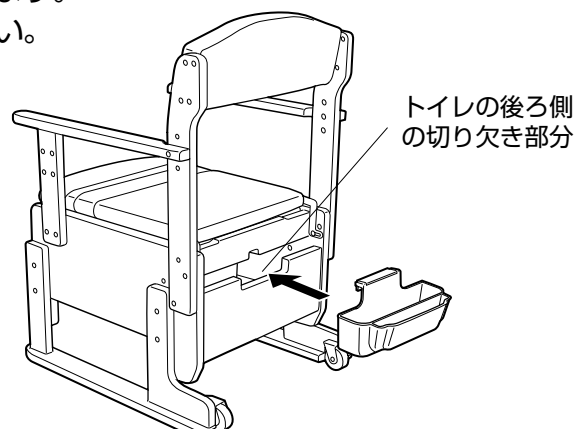
ご使用状況に応じて、取り付け位置を左右のひじ掛けから選択し、ひじ掛け側面のペーパーホルダー取り付け用ナット（ひじ掛け側面上から2つ目の穴部）に軸受けを軸受け固定ボルトで取り付けます。（上下の向きに注意して取り付けてください）

軸受けにペーパーホルダーを差し込みます。



2 ポケットを取り付ける

ポケットはトイレの後ろ側に取り付けることができます。
トイレの後ろ側の切り欠き部分に取り付けてください。



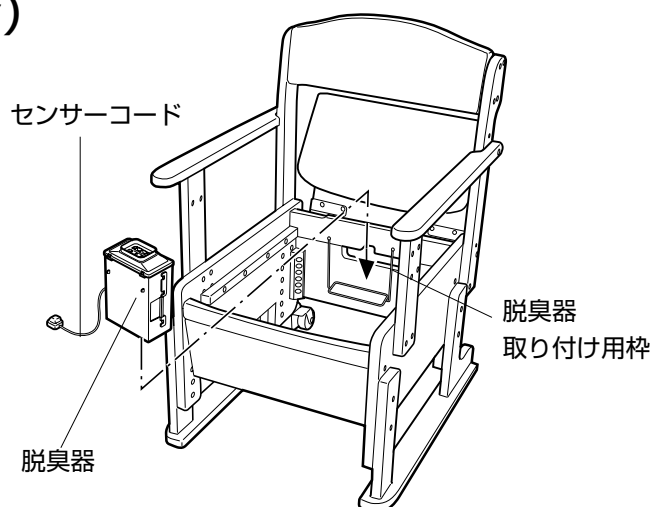
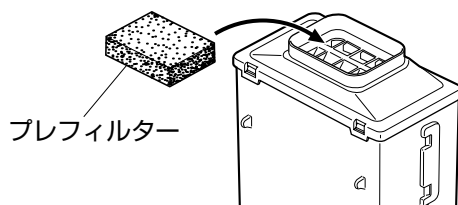
組み立てかた

3 脱臭器を取り付ける（快適脱臭の場合）

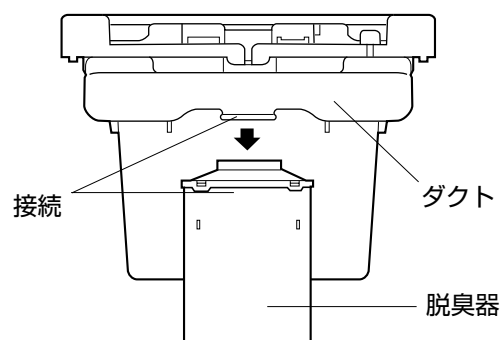
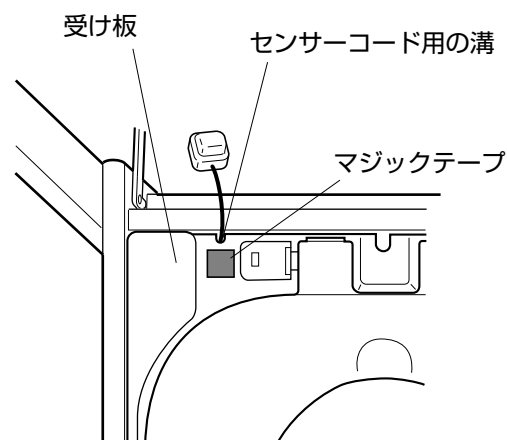
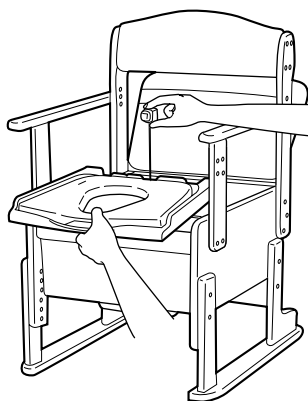
①折れ座面を開けて、受け板を本体から外してください。

②脱臭器をトイレ本体の内側に取り付けます。脱臭器の吸引口を上方に向け、センサーコードが向かって左側にくるようにトイレ本体内部に取り付けられた金属製の枠に脱臭器を差し込んでください。

※プレフィルターが外れた場合は、脱臭器の吸引口に再度セットしてください。



③センサーを片手で持ちながら、受け板をトイレ本体に取り付けます。その際、センサーコードが受け板のセンサーコード用の溝を通るように注意して下さい。はじめに、受け板の後方を本体にあててから取り付けると簡単に取り付けることができます。この時、接続ダクトの中央の穴と、脱臭器の吸引口が接続されているか、確認してください。



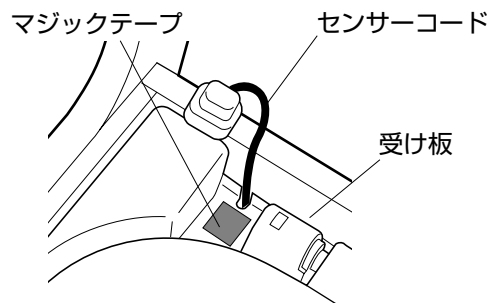
注意

- 接続ダクトは、しっかり接続してあることを確認すること
- 異物等を挿入したり、はさみ込まないこと
吸引力を低下させたり、故障の原因になります。

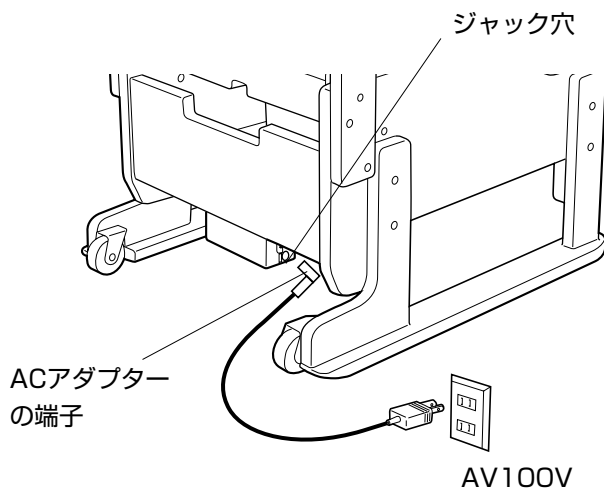
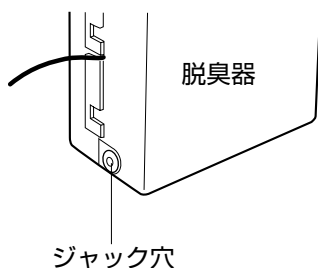
組み立てかた

3 脱臭器を取り付ける（つづき）

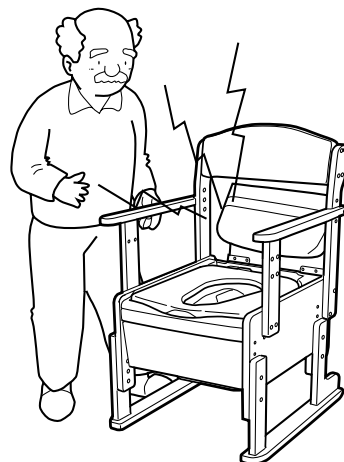
- ④センサーを受け板に取り付けます。このときセンサーコードがセンサーの後側になるように取り付けてください。
センサーとセンサー取り付け位置にはマジックテープが付いており、簡単に着脱することができます。



- ⑤ACアダプターの端子を脱臭器本体の横にあるジャック穴に差し込み、ACアダプター本体を家庭用（100V 50/60Hz）コンセントに差し込んでください。約30秒後、センサーが待機状態となり、人体を感知すると脱臭器が運転を開始します。



- ⑥センサーは人の動きを感知し続けると運転を継続しますが、人の動きを感知しなくなってから約5分後に運転を停止します。ご使用中でも長時間一定の姿勢で着座されたときは、センサーが使用者の動きを感知しないため停止することがありますが故障ではありません。このようなときは、身体を前後に軽く動かすかセンサーの前に手をかざして、センサーが人体の動きを感知するようにしてください。

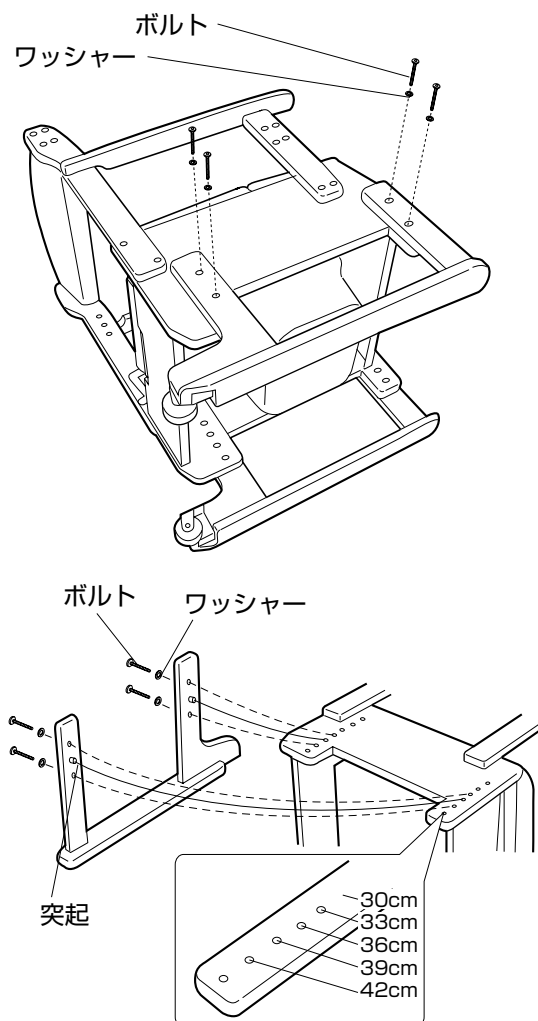


1 便座（座面）の高さを調節する

ご使用になる方の体格にあわせて、座面・便座高さを5段階（30・33・36・39・42cm）に調節できます。

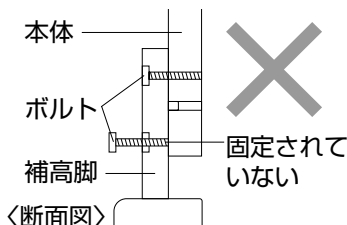
※本体を箱から取り出した時は、座面高40cm・便座高36cmに設定されています。

高さ調節の方法は、本体を横倒しにして、補高脚を固定しているボルトをゆるめ、取り外します。設定したい高さの穴に補高脚中央の突起を差し込み位置決めし、ボルト各2本（左右合計8本）で確実に固定します。



注意

- 補高脚を調節して使用する場合、左右の脚が同じ高さになるようにし、ボルトで確実に固定すること
- 補高脚は、必ず4本のボルトで固定すること
下図のような取り付けは絶対にしないでください。
破損、転倒しけがの原因になります。
- 補高脚を取り外した状態で使用しないこと
本体が不安定となり、転倒したり、けがの原因になります。



2 ひじ掛けの高さを調節する

ご使用になる方の症状や体格に合わせて、

ひじ掛けの高さは、4段階（0・18・21・24cm）に調節できます。

※本体を箱から取り出した時は21cmに設定されています。

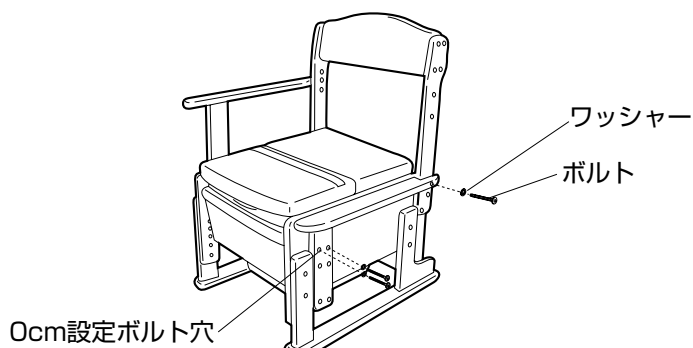
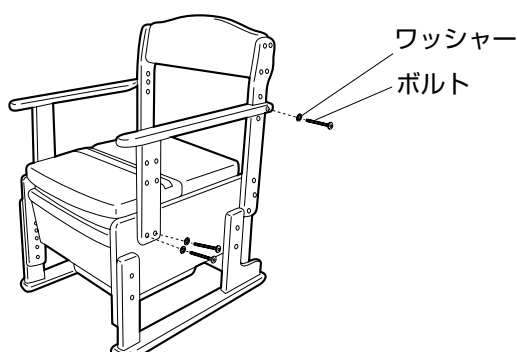
片側のひじ掛けを使用しなかったり、ベッドから座位移乗して使用する場合は、ひじ掛けを0cm設定にして本体に固定することができます。

ベッドとトイレ本体とのすき間を埋める移乗スペーサーとして利用できます。



注意

- ひじ掛けがしっかり固定されているか確認すること
ひじ掛けが外れ転倒し、けがの原因になります。
- 移乗の際、ひじ掛けを取り外したり、0cm設定で使用する場合は、もう一方のひじ掛けは必ず取り付けた状態（18cm以上の設定）で使うこと
背もたれが倒れ、けがの原因になります。



使いかた

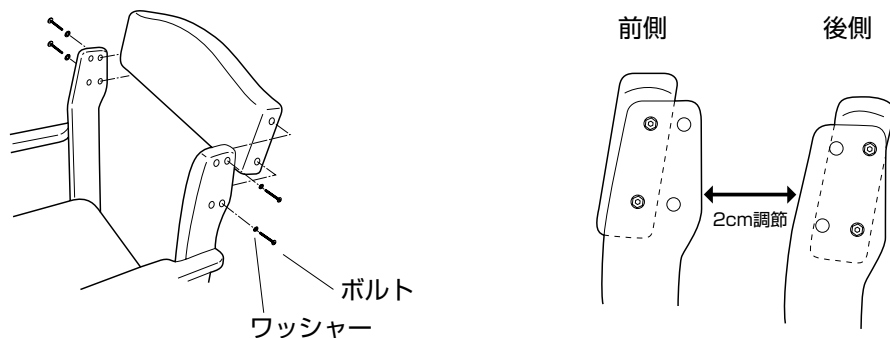
3 背もたれの位置を調節する

必要に応じて背もたれの位置を2段階（前後2cm）調節することができます。

背もたれ支柱の穴位置を選んでボルトで確実に固定してください。

※本体を箱から取り出した時は、前側に付いています。

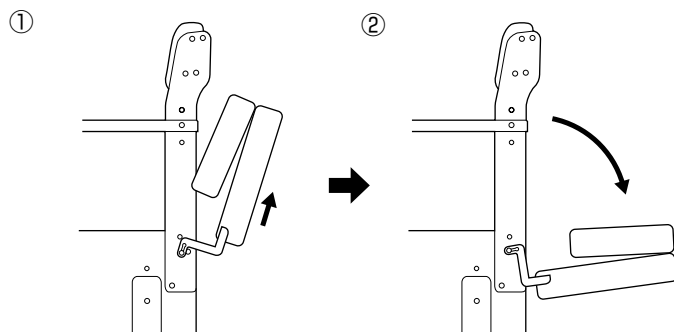
背もたれクッションの前後を間違えないよう注意してください。前後を間違えて設定しようとした場合、ネジ固定できない仕様としています。



4 座面をトイレの後ろ側に倒して使用する（後方介助）

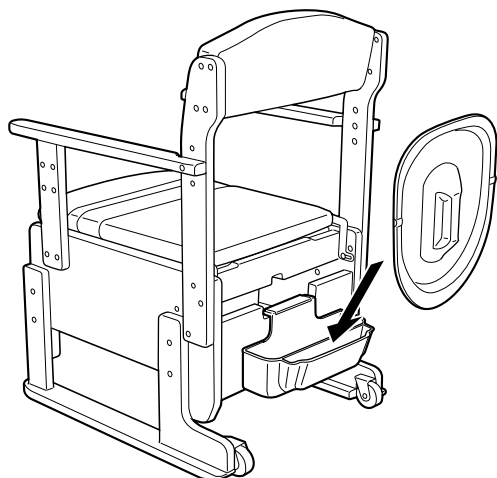
①座面を開けた状態から座面後部を持ち上げてください。座面のロックが解除されます。

②そのままトイレの後ろ側へ座面を倒せば、後方からの介助を行うことができます。

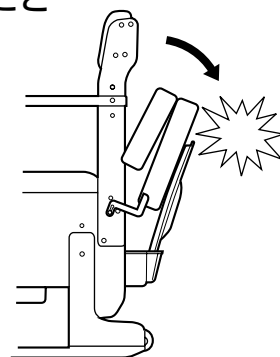


5 ポケットにバケツの蓋を収納する

バケツの蓋の上面が手前に向いた状態で、蓋の先端を下にしてポケット外側の収納場所に差し込んでください。



トイレの後ろ側にポケットを付けた場合、バケツの蓋を収納した状態やポケットの上面よりも高い物を入れた状態で座面を後ろ側に倒さないこと
座面とバケツの蓋や収納物が接触して破損する恐れがあります。



使いかた

6 快適な使いかた

本製品には、防臭消耗品が入っております。ご活用いただき、快適にお使いください。

①防臭消耗品の使いかた

バケツに約2Lの水（バケツ内側の2と表示のある線まで）を入れ、付属の防臭消耗品を入れてください。ポータブルトイレ用防臭剤、消臭剤フォームタイプ、消臭シートもご使用いただけます。（別売品）快適脱臭の場合は、付属の消臭剤フォームタイプを併用することにより、自動停止後も長時間脱臭効果が持続します。



当社指定の防臭消耗品以外は使用しないこと

脱臭器の吸着材は、臭いの成分を吸着するため、香料を含む薬剤を使用すると、吸着材の寿命が短くなる恐れがあります。

②便器に座る前に用便されてしまう場合もあります。あらかじめポータブルトイレ用消臭・防水シート（別売）を敷いておくと、より快適にお使いいただけます。

③折れ座面を開け、便座を上げて、バケツの蓋を外してご使用ください。

※バケツ内へは、ティッシュペーパーなど、トイレットペーパー以外のものは入れないこと。トイレで処理する際、詰まる原因になります。

④使用後はポータブルトイレ本体からバケツを取りだして、汚物をトイレに流してください。



便座の分解・組立て方法

●お手入れや便座の取りかえを行う時

1 折れ座面を開け、便座を上げる

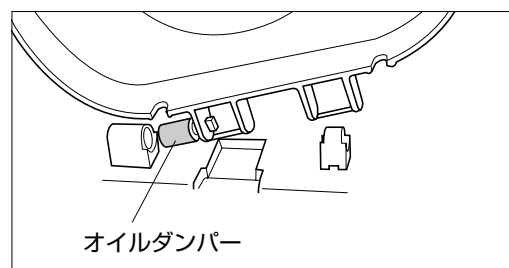
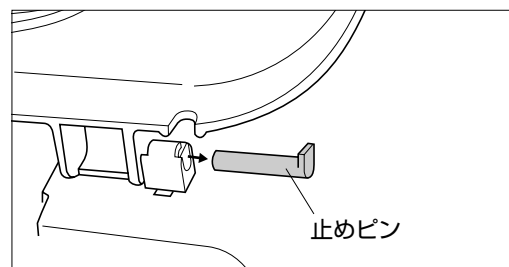
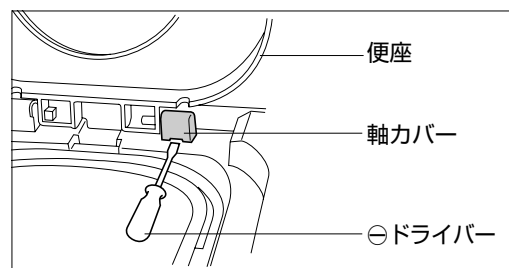
2 軸カバーの溝に⊖ドライバー等を入れ、上に引き上げる

3 止めピンをぬき、便座を軸受けから外す

4 最後に受け板の軸穴からオイルダンパーをぬき、便座を分解する

（オイルダンパーが軸受に残った時は、4の作業はいりません）

※組立てる場合は、4から逆の手順で行ってください。



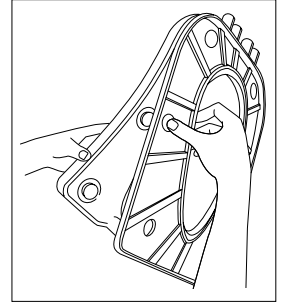
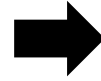
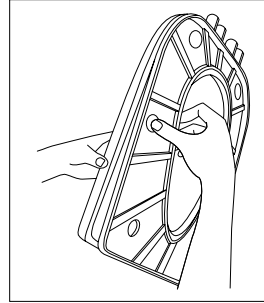
使いかた

ソフト便座は 便座ベース板から分解できます

裏面の凸部を押して分解してください。



ソフト便座と便座ベース板を分解する際、
無理にひっぱらないこと
強く引っばると、ソフト便座が破損します。



お手入れの方法

1 普段のお手入れは

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。

汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。

2 少しひどい汚れには

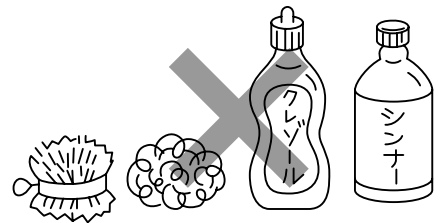
便座・受け板は、本体から取り外すことができます。汚れがひどくなった時は、便座の分解・組み立ての方法の手順に従い取り外してください。



※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと

※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと

木部の塗装がはがれたり、プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



快適脱臭

3 脱臭器のお手入れ

①ACアダプターを取り外し、折れ座面を開けて、センサーを受け板から外します。次に受け板をポータブルトイレ本体から外してください。

②脱臭器をポータブルトイレ本体から引き上げ取り外してください。

③ダクトは、汚れやほこりが溜りやすいので、時々ブラシ等で、ほこりを取り除いてください。また、落ちにくい汚れは、水で洗い流してください。

④接続ダクトと脱臭器の間にあるプレフィルターは、ほこりがたまりやすいので、月に1度は取り外して、やわらかいブラシ等でほこりを取り除いてください。

⑤脱臭器の取り付けは、9～10ページ「脱臭器を取り付ける」の項目を参照してください。



※お手入れの際は、必ずACアダプターをコンセントから抜くこと

感電やショートして火災の原因になります。

※脱臭器は水洗いしないこと

脱臭器の内部に水が入ると故障の原因になります。

※センサーコードを引張ったり、折り曲げたりしないこと

断線して故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

修理などを依頼される前に、本書をよくお読みの上、次の点をお調べ下さい。

快適脱臭

こんなとき	調べるところ・原因	処 置
においが取れない	プレフィルターにほこりがつまっていませんか	プレフィルターの掃除をする →P9
	受け板の吸引口、脱臭器排気口をふさいでいる物はありませんか	ふさいでいるものを取り除く
	接続ダクト・脱臭器がしっかり接続されていますか	正しく接続する →P9・10
センサーに手をかざしても作動しない	センサーが汚れていませんか	センサーを掃除する
	ACアダプターはしっかり差し込まれていますか	ACアダプターを差し込みなおす →P10
人がいないのに作動し続ける	座面は開いていませんか	座面を閉じる